

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	生涯学習部文化財・博物館開設準備室	直通電話	72-6123	事業コード	406020101	課内	1	作成日	平成15年8月15日	
	担当者		工藤 義衛		担当課長		石橋 孝夫		担当部長	樋口 幸廣

1 事業のアウトライン

1) 事業名	博物館資料等収集研究活用事業	開始年度	平成9年	終了年度	未定								
			最近の事業内容見直し年度 平成14年										
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">施策コード</th> <th style="width: 90%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>4060201</td> <td>芸術・文化の振興 / 文化財の保護</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	4060201	芸術・文化の振興 / 文化財の保護				
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目												
4060201	芸術・文化の振興 / 文化財の保護												
3) 個別計画での位置付け	(教育プラン:「伝統文化と文化財を後世に伝える」)												

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	石狩市の自然、歴史、文化などに関する博物館資料を収集、保護し、調査研究を行った成果を市民に還元する。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	市民が石狩市の自然、歴史、文化などに興味をもち、博物館資料の保護と理解が深まる
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	石狩市の自然、歴史、文化に関する博物館資料の収集、保護を行う。 博物館資料に関する調査研究を行う。 収集、調査、研究の成果を郷土資料室の公開、体験学習事業や企画展示、博物館開設準備室だより(エスチュアリ)や市広報連載「石狩博物誌」などを通じて市民に伝える。
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	関係事業の統合を行った。
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	急速な社会の変化に伴い、自然や伝統的な文化が失われつつある。また、石狩市は、転入者が多く、郷土の自然、歴史、文化に対する理解が深まらない傾向がある。そのため、市の自然、歴史、文化を保護、保存、調査、研究をするとともに、市民にその成果を伝えることが必要である。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	文化財保護審議会に、事業計画および実施状況を報告している。
7) 評価中間公表への市民意見	なし

3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14 事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	2,470	2,193	2,180	5,563	市指定文化財の保護・管理(委託料)	166
2) その他の間接経費(千円)					博物館資料の調査(旅費)	98
3) 従事正職員の人件費(千円)	2,219	2,239	2,224		博物館資料の活用(資料室光熱水費、委託料)	1,916
総事業費(1~3の合計;千円)	4,689	4,432	4,404		H14 主な特定財源の内訳	
総事業費中の一般財源(千円)			4,404			金額(千円)
市民一人当たり一般財源使用額(円)			79			
事務に従事した正職員のべ人数	0.27人	0.27人	0.27人			

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	
土器作り教室の参加者数(人)	目標値	40	40	40	20	説明: 事業定員に対する参加者数(単位:人) 目標値: 事業定員(単位人) 実績値: 参加人数(単位人)
	実績値	38	32	13		
	達成率	95.0%	80.0%	32.5%		
博物館開設準備室だより「エスチュアリ」発行数(部)	目標値	8,000	8,000	8,000	6,400	説明: エスチュアリの印刷予定部数に対する実績部数 目標値: エスチュアリ発行予定部数(単位部) 実績値: エスチュアリ発行部数(単位部)
	実績値	3,800	7,200	6,700		
	達成率	47.5%	90.0%	83.8%		
郷土資料室入室者(数)	目標値				1,800	説明: 郷土資料室の入室者数(単位:人) 実績値はあるが、指標は未設定。 実績値: 郷土資料室入室者数(単位人)
	実績値	1,799	1,415	1,823		
	達成率					

5 事業の成果

事業名：博物館資料等収集研究活用事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
エスチュアリ配布部数(部)	目標値	3,800	7,200	6,700	6,400	説明：「エスチュアリ」の印刷部数÷配布部数(単位：%) 目標値：エスチュアリ発行部数(単位部) 実績値：エスチュアリ配布部数(単位部)	文化財保護事業実績資料
	実績値	3,502	6,793	5,840	目標レベル		
	達成率	92.2%	94.3%	87.2%			
	最終目標	年度に					
郷土資料室入室者数(人)	目標値				1,800	説明：郷土資料室の入室者数 実績値はあるが、指標は未設定。 実績値：郷土資料室入室者数(単位人)	入室者名簿
	実績値	1,799	1,415	1,823	目標レベル		
	達成率				-		
	最終目標	年度に					
ちいさな博物館見学者数(人)	目標値					説明：ちいさな博物館の見学者数 実績値はあるが目標は未設定。 実績値：見学者数(単位人)	見学者名簿
	実績値	358	未実施	1,200	目標レベル		
	達成率				-		
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	土器作り教室については、参加者数が減少しており内容、参加定員などについて検討が必要である。「ちいさな博物館」については、市教委所蔵資料や市民から無償で借用した資料で行っており、費用対効果は高い。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	文化財や博物館資料の公開、活用の方法としては有効かつ必要であるが、体験学習教室の定員数や種類などについては検討中である。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	文化財や自然、歴史などに関する博物館資料は国民共有の財産であり、石狩市に関連するものについて保護、保存、収集、研究、活用を行うのは地元自治体の責任である。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	体験学習や展示の内容、実施数については検討が必要だが、全体としては一定の妥当性が認められる。				

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	C (前年度)
[課長] 一部の手法については、検討が必要であるが、全体としてはおおむね良好であった。	事業の成果指標が明確でない段階で、良好とは言い難い。			

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	事業の見直しを図るとともに、より市民が関与できるような手法を検討していく。
最終評価	課長評価を了承する。

9 平成16年度の方向性

事業規模	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
拡大方向		*	
現状維持			
縮小方向			
統合			
休・廃止			
上についての説明	事業内容や手法について検討が必要である。規模は事業の統合と新規事業の展開を並行して行い、全体では若干増加するものと考えられる。		